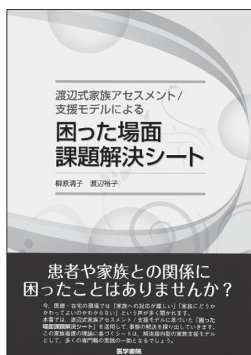


今月の3冊プラス1



渡辺式家族アセスメント／支援モデルによる 困った場面課題解決シート

著：柳原清子，渡辺裕子 発行：医学書院 TEL.03-3817-5657
定価：1890 円(本体 1800 円＋税 5%)

行き詰まった患者(当事者)・家族との関わりを打開するにはどうしたらよいか、困った場面につづかったときどうすればよいか。著者らは 10 数年をかけて、〈渡辺式家族アセスメントモデル〉を作成・検証するなかで、数多くの事例分析を行った。その結果、困った場面はいくつかのパターンに分けられることに着目し、それらをまとめて、家族支援に関わる専門職が活用できるようにしたのが本書である。「何が原因なのか」「誰が悪いのか」ではなく、「何が起きているのか」に焦点をあて、絡まった毛糸をほぐしつつ、全体を俯瞰する見方をする事で事態の解決をめざす。



がれきの中の天使たち 心に傷を負った子どもたちの明日

著：椎名篤子 発行：集英社 TEL.03-3230-6393
定価：1260 円(本体 1200 円＋税 5%)

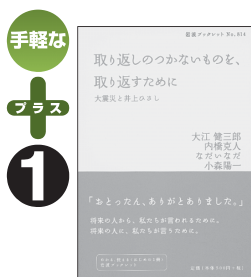
東日本大震災で被災した子どもたちは心に大きなダメージを受け、深刻なケースも少なくないという。被災地にいち早く駆けつけ、保健師、心理士などと協力しながら、子どもたちとその家族の心のケアに取り組んだ児童精神科医たち。これから何年もかかるであろう子どもたちの PTSD(心的外傷後ストレス障害)の治療に取り組む医師とそのチームには、阪神・淡路大震災の体験と教訓がルーツにある。長年子どもの心の問題を追う椎名篤子氏が、「子どもの心のケアの現場」を取材し、現状をルポしたノンフィクション。



病棟・外来から始める リンパ浮腫予防指導

編著：増島麻里子 発行：医学書院 TEL.03-3817-5657
定価：2835 円(本体 2700 円＋税 5%)

がん治療やがんの病状悪化で引き起こされるリンパ浮腫。これをどのように予防していくか、基礎的な知識をはじめ、実践の技術まで網羅する 1 冊である。そもそもリンパ浮腫とは何なのか？ということを知りたいければ第 1 部から読む、どのようにセルフケアを支援していくか悩んだときには資料の「リンパ浮腫セルフケアブック」を参照する、などニーズに沿ったさまざまな使い方ができる。保健師にとっては、発症した際にどのような機関と連携を取ればよいのかをまとめた第 4 部「リンパ浮腫が発症したら」が参考になるかもしれない。オールカラーで読みやすくまとまっている。



取り返しのつかないものを、取り返すために 大震災と井上ひさし

著：大江健三郎，内橋克人，なだいなだ，小森陽一
発行：岩波書店(岩波ブクレット No.814) TEL.03-5210-4111
定価：525 円(本体 500 円＋税 5%)

2011 年 4 月 9 日に行われた「鎌倉・九条の会」主催の講演を収録した 1 冊。会のよびかけ人の 1 人である井上ひさしの死から 1 年経ち、また井上の故郷である東北で発生した大震災という状況のなかで、その後の惨禍をどのように生きるかを考える内容。なかでも内橋による「不安社会を生きる」は当事者性のない言葉の空虚さを指摘する。震災関連本が数多く生まれるなかで、薄いながらも内容の濃いものに仕上がっている。